

アートでふれあい、つながる共生社会

プラットフォーム・アート・プロジェクト「ホーム・トゥー・ホーム」with 森 太三

本市は、障がいがある人もない人も共生できる社会の実現に向けて取り組んでいます。このたび、社会福祉法人 悠林舎のご理解とご協力をいただき、障がい者のアートによる取組を紹介する「アートでふれあい、つながる共生社会」を市役所庁舎で開催します。人間の温もりにあふれた展示空間をご体感ください。



ワークショップ 光る家をつくろう



日時 3月21日(土)
11:00~12:00/
14:00~15:00
場所 市役所1階 あなんフォーラム
(正面玄関入って正面)
講師 森 太三さん
定員 各回10人 参加無料・要予約
※予約は3月2日~21日(電話・会場
で受け付けます。ただし、電話予約は
平日のみ)
☎ 福祉課 (☎22-1592) へ

日時 3月19日(木)~29日(日)

平日 9:00~18:00
土日祝 9:00~17:00

場所 市役所1階 多目的スペース
(正面玄関入って右側)

※入場無料・申込不要
☎ 福祉課 (☎22-1592) へ

今回のテーマは「家」。皆で支え合いながら、それぞれの家、思い思いの家を想像し創作活動を行いました。作品を通じて一人ひとりが輝き、自立した生活を送れる、地域で安心して暮らすことを体現し発信することで、その第一歩へとつなげればと考えています。

令和元年9月から、県内各所でワークショップを開催するなど、展示会に向けて創作を続け、一人ひとりの個性や協働作業の成果が詰まった作品ができあがりました。

プロジェクトの企画から運営に携わっている目下活躍中の現代美術家の森 太三さんにプロジェクトの意義などについてお話を伺いました。

—どのような所に力点を置いてプロジェクトを進めていますか。

参加者の皆さんが、気負わずに制作できる環境をつくることに力点を置いています。プロジェクトに関わっていただく中で、自分自身の手でつくることの楽しさや、喜びを体感していただけたらと思っています。

—展示やワークショップに参加される市民に伝えたいメッセージは。

誰しもが表現者であるということを知っていただければと思います。—今後、プロジェクトをどのように展開させていただきますか。

いろんな方々に関わっていただいで進めているプロジェクトですので、無理なく進めていくことが大切だと思っています。



森 太三さん

みずのきアトリエ講師、みずのき美術館
設営スタッフ 京都精華大学・京都造形
芸術大学・成安造形大学非常勤講師